

◆令和5年度(2023年度)公共事業事後評価調書(試行)

【資料8】

様式1 整理番号	調書 番号	事業施別	地区名 (市町村名)	備考 (参考添付)
1	07-01	林道整備事業費 (農山漁村交付金事業)	<small>とみうちだいに</small> 富内第2 (むかわ町)	(過去評価:H24再評価調書)
2	08-01	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	<small>もとちかふかせん</small> 元地香深線 (礼文町)	(過去評価:H21事前評価調書)
3	08-02	道営住宅建設費 (社会資本整備総合交付金)	(仮称) <small>みなみわっかない</small> 南稚内 (稚内市)	(過去評価:H25事前評価調書)

調書番号	07-01	所管部	水産林務部	基準年月日	令和5年8月1日
				作成責任者	水産林務部林務局森林整備課 路網担当課長 羽角 修司
				担当係	路網整備係（内線）28-634

I 基本事項									
事業種別	林道整備事業費（農山漁村交付金事業）								
ふりがな 地区名	とみうちだい 富内第2			市町村名	むかわ町				
事業期間	採択	H14 (2002)	完了	H29 (2017)	総事業費	753 百万円			
負担割合	国	50.0%	道	50.0%	市町村	-	その他	-	
	376		377		-	-		-	
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設として整備すべき林道を開設。 ●本路線を根幹とする作業路網が構築され、効率的な森林経営が確立。 ●本林道の森林利用区域面積は519haで、人工林117haを主体とした間伐・主伐の木材搬出路としての林道開設。 ●天然林を主体とした森林の保全に伴う水源涵養機能の維持向上を図るため重要な林道開設。 								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●本路線は、鶴川水系鶴川沿いに位置し、車道幅員3.0m、全体延長7.6kmの林道で、土工・路盤工・排水施設工・その他擁壁工・法面保護工を主体とした開設（新設）を行うもので、この地域の森林整備を実施する上で根幹となる路線であると共に、大半を占める水土保持林の管理の上でも重要な路線である。 								
評価経歴			工事費内訳	百万円	変更理由・内容	費用対効果 (百万円)			
採択	完了	区分							
H14 (2002)	H23 (2011)	採択 H14 (2002)	林道開設事業 W=3.0(車道幅員) L=7,640m 林道開設工事費 測量試験費 用地補償費等	1,153 73 4	●H14年実施の全体計画調査の結果に基づき、事業量及び事業費の変更。 ●公共予算の削減に伴う進捗の遅れによる事業期間の繰り延べ。 (H23 ⇒ H31)	便益	1,408	<ul style="list-style-type: none"> ●「林野公共事業における事前評価マニュアル」(林野庁H14) ●策定年度はH14年度 	
			計	1,230		費用	1,198		
						B/C	1.17		
H14 (2002)	H31 (2019)	再 H24 (2012) 1回目	林道開設事業 W=3.0(車道幅員) L=7,485m 林道開設工事費 測量試験費 用地補償費等	942 60 3		便益	1,392	<ul style="list-style-type: none"> ●「林野公共事業における事前評価マニュアル」(林野庁H22) ●策定年度はH24年度 	
			計	1,005	費用	1,055			
					B/C	1.32			
H14 (2002)	H29 (2017)	事後 R5 (2023)	林道開設事業 W=3.0(車道幅員) L=7,621m 林道開設工事費 測量試験費 用地補償費等	683 67 3	<ul style="list-style-type: none"> ●路線詳細測量により、計画していた新設の構造物及び土工量が減少し、それに伴う事業費の減。 ●工事施工中の現場確認により、設計との不一致に伴う切土工及び構造物の減及び法面緑化工法が安価なものにできたことによる事業費の減。 ●路線詳細測量の結果に基づく、事業量の変更 	便益			
			計	753	費用				
					B/C				

II 効果の発現状況	
1 整備後の効果発現	<p>【整備前の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幹線となる林道が未整備であるため、森林整備を行う所までのアクセスが困難で、間伐・主伐後の木材の搬出に支障を来している。
	<p>【整備後の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●林道の整備により、森林整備を行う所までのアクセスが可能となり、林業機械の導入・木材の搬出等の効率的な森林整備が図られた。 <p>森林整備面積 H14～R4までの実績：304ha（延べ面積） ※作業種類：主伐・間伐・造林・保育</p>
2 整備施設の管理・利用者等への意見聴取	<p>【維持管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●整備後はむかわ町が施設の管理を行い、むかわ町林道維持管理規則に基づき、林道の良好な状態を維持するための草刈り等をむかわ町が実施している。
	<p>【利用者等への意見聴取】</p> <p>整備による事業効果について、森林所有者及び当該地区で森林整備を行っている森林組合へ聞き取りを行った結果、主に次のような意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●森林整備を行う所までのアクセスが可能となったので、林業機械が導入でき、森林整備の作業効率の向上が図られた。 ●木材搬出路が整備されたことにより、大型トラックの通行が可能となり、効率的に木材搬出を行うことができている。 ●森林整備の集約化が図られ、効率的な森林経営が確立された。
3 整備における環境等の影響	<p>【自然環境の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既設作業道のある箇所は最大限利用するなど周辺環境へ配慮した施工を実施するとともに、以下の点に配慮し、自然環境の影響を最小限とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・極力地形の改変を抑える線形とする。 ・降雨時・融雪時に法面から土砂が流出しないように法面を保護する緑化を施工する。
	<p>【その他（生活環境等）の影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特に無し

III 同種事業に今後活用すべき事項	
1 効果発現を踏まえた推進事項	<ul style="list-style-type: none"> ●林道を整備したことにより、林業機械の導入や大型トラックの通行が可能となり、効率的な森林整備や森林経営が確立。 ●地形の改変を抑えることにより、自然環境にも配慮したルートの計画。
2 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●公共予算の削減に伴い、事業進捗に遅れが生じ事業期間の繰り延べを行った。当初公共予算の確保については、国に対し事業の必要性、緊急性を丁寧に説明し必要額を要望するほか、補正予算等の要望など、計画期間内での事業完了を目指す。

IV 評価	
対処方針	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業での整備によって効率的に森林整備が可能となり、長期的な森林経営を計画的に実施できることから、事業効果は十分に発現されている。
	<p>a</p> <p>a：効果が発現している b：効果が一部発現している c：効果の発現は見られない</p>

調書番号	07-01	事業種別	林道整備事業費（農山漁村交付金事業）	
ふりがな 地区名		とみうちだい 富内第2	市町村名	むかわ町

●林道整備状況（整備前・整備後）

【整備前】	H29年度開設区間	H27年度開設区間	H25年度開設区間
			
↓		↓	↓
【整備後】	H29年度開設区間	H27年度開設区間	H25年度開設区間
			

●効果の発現状況（森林整備）

【伐採作業】	【林業機械による作業】	【木材の搬出】
 機械伐採後の人力による枝払い状況	 機械による玉切（一定の長さになる作業）・集積状況	 大型トラックの運搬状況

【間伐状況】
※林分内の密度を下げ、森林の機能の維持増進のために行う間引き作業

作業前	作業後 （立木の密度が減少）
	

【造林状況】 ※伐採後の跡地等に、新たな森林を作る作業

苗木を植えている状況	カラマツ造林 苗木の生育状況
	

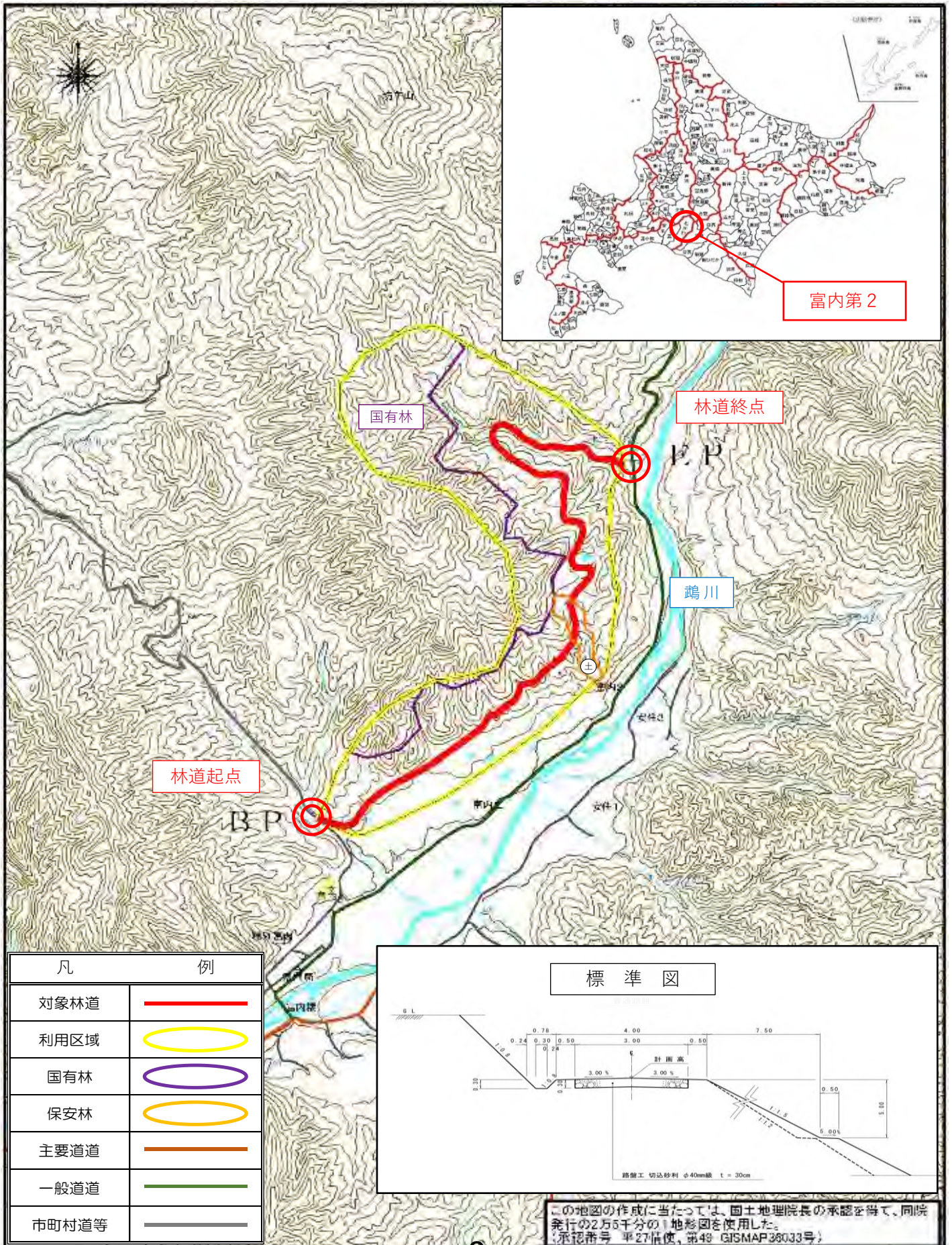
●整備施設の管理
毎年、草刈りを行い通行を確保している
（施設管理者：むかわ町）

草刈り前	草刈り後
	

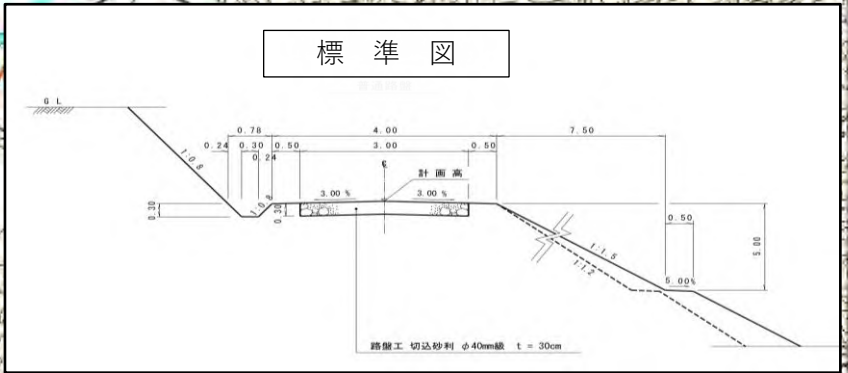
草刈り作業左右完了状況

5

地区名	事業主体	所在地	主な事業内容	
			富内第2	北海道
			車道幅員	3.0 m
			延長	7,621 m



凡	例
対象林道	
利用区域	
国有林	
保安林	
主要道道	
一般道道	
市町村道等	



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
 (承認番号 平27届使、第49 GISMAP38033号)

平成24年度 公共事業再評価調査

基準年月日 平成24年8月1日

調書番号	07-14	所管部	水産林務部	作成責任者	林務局森林計画課長 佐伯 知広
				担当グループ	林道計画グループ (内)28-519

I 基本事項 (基準日時点)							
事業種別	林道整備事業費 (地域自主戦略交付金)			地区名	とみうちだい2 富内第2	市町村名	むかわ町
事業費	百万円	負担割合	国 50%	道 50%	市町村	その他	
	1,005		502	503	-	-	
事業目的・目標	●森林整備に直結する林内路網を形成する上で、恒久的施設として整備すべき林道を開設 ●本路線を根幹とする作業路網が構築され、効率的な森林経営が確立。 ●本林道の森林利用区域面積は519haで、人工林117haを主体とした間伐・主伐の木材搬出路としての林道開設。 ●天然林を主体とした森林の保全に伴う水源涵養機能の維持向上を図るため重要な林道開設。			事業概要	本路線は、碓氷川水茶碓川沿いに位置し、単道幅員3.0m、主体延長7.5kmの林道で、土工・路盤工・排水施設工・その他擁壁工・法面保護工を主体とした開設(新設)を行うもので、この地域の森林整備を実施する上で根幹となる路線であると共に、大半を占める水土保持林の管理の上でも重要な路線である		
				工事費内訳	林道開設事業 W=3.0m L=7.5km	(百万円)	
				林道開設工事費		942	
				測量試験費		60	
				用地補償費等		3	

II 計画変更 (単位：百万円)											
事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	当初	H14	H15	H23			1,230	615			
	変更①			H15		H23		1,133	567		
	変更②			H19		H31	10	1,005	503	31	426

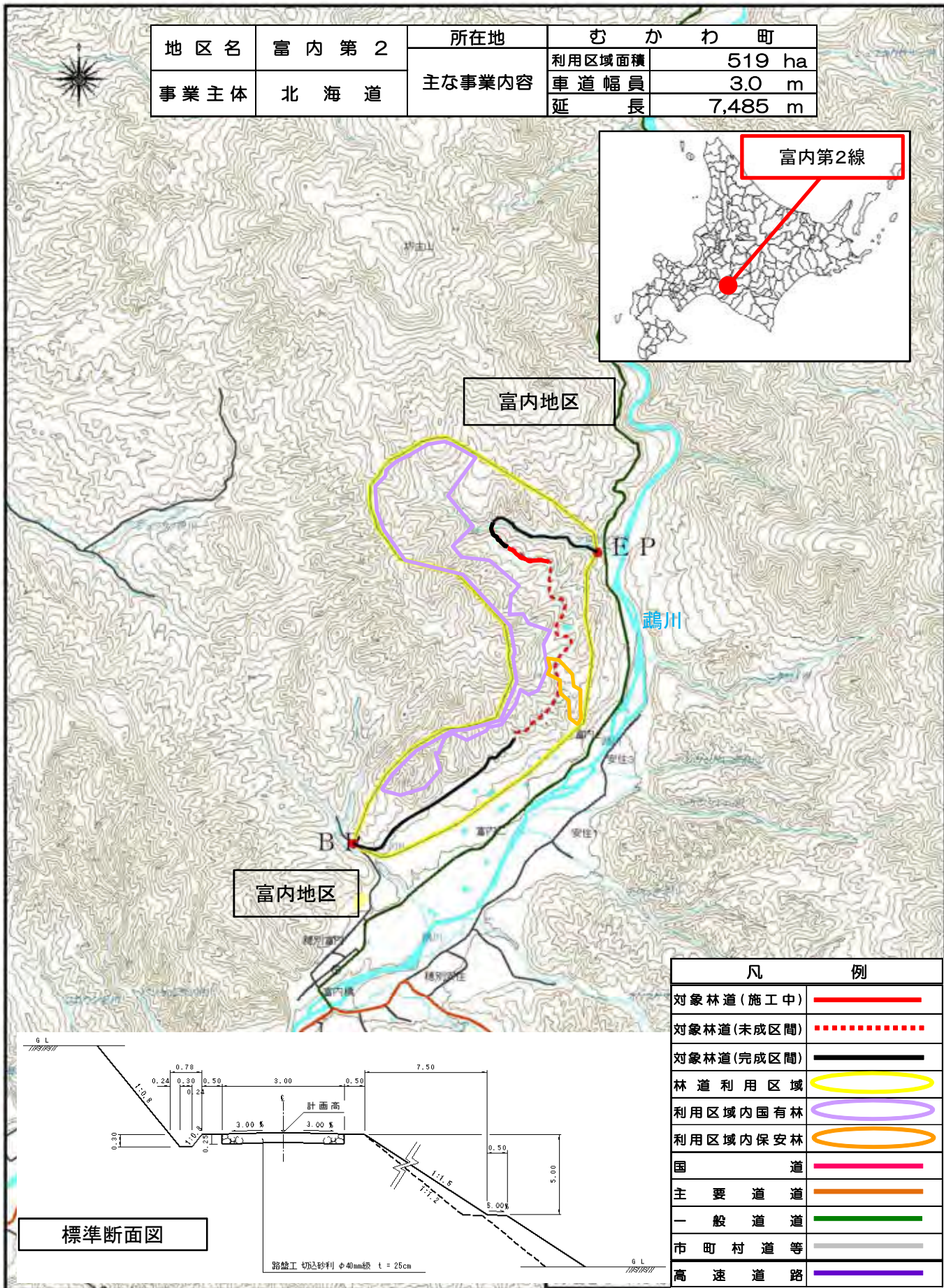
変更理由・内容
 ①全体計画調査の結果に基づき計画延長(7.6km→7.5km)、総事業費の変更。
 ②近年の大幅な林道事業費の縮小に伴い、当初予定していた事業量を実施できなかったため、事業期間の繰り延べを行った。(H23→H31) また、現在までの事業実績を基に、総事業費を精査し変更。

III 事業着手前の状況						
1. 事業着手に至る経過と背景	○当該森林は道道占冠穂別線から突っ込みの作業道で施業を実施してきたが、勾配が急なため雨水により路盤材が流出するなどし、特殊車両以外の走行が困難で、森林施業に支障をきたしていた。 ○当該利用区域内には林齢16年生から60年生のカラマツを主体とした人工林が約30%を占めており、搬出間伐及び主伐等の効率的な森林施業が骨格となる路網が未整備なため困難な状態である。 ○効率的な森林施業を実施するために、高性能大型林業機械や大型輸送トラックの通行が可能な規格の林道開設が必要となった。					
2. 事業検討の際の手続き (住民への把握等)	○平成12年10月 森林所有者より林道整備要望(穂別町(現むかわ町)) ○平成12年10月～平成13年10月 当該事業実施について、むかわ町、森林所有者、森林組合等の関係機関と協議 ○平成13年10月 地域住民に対し事業説明 ○平成14年11月 全体計画調査(自然環境調査等)					
3. 事業が効果及ぼす地域・対象	○当該路線の利用区域内森林所有者(15名、国有林、むかわ町)並びに森林整備を実施する森林組合、林業関係団体 ○水源涵養等の公益的な効果を受ける当該森林の下流域 ○森林利用区域面積519ha					
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容	
	森林環境保全整備事業費	苫小牧広域森林組合	H13～H22	13	間伐(69ha)	
	森林環境保全整備事業費	苫小牧広域森林組合	H13～H22	2	保育(54ha)	
	森林環境保全整備事業費	苫小牧広域森林組合	H13～H22	15	造林(25ha)	

IV 事業の実施状況													
(1) 事業計画及び実績													
1. 進捗状況	施工(工種)区分	工事内容	14	15			23	24	25		31	進捗状況	事業費(百万円)
	林道開設工事	W=3.0m L=7.5km			← L=4.2km →				← L=3.3km →			39%	942
	測量試験費	全体計画・実施設計			←				←			93%	60
	用地補償費	用地買収・立木補償			←				←			100%	3
(2) 進捗状況													
林道事業予算の縮小に伴い、当初計画からは事業進捗に遅れが生じているが、変更後の事業計画期間内での完了は可能である。													
b a: 概ね予定どおり実施している b: 若干の遅れは見られるものの対処可能である c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている													

	経済効果の内訳（百万円）			費用の内訳（百万円）			B/C		
	項目	前回	現在	項目	前回	現在	前回	現在	
2.経済効果	水源涵養便益	576	495	事業費	998	1,006			
	山地保全便益		564	維持管理費	33	49			
	環境保全便益	364	73	造林保育経費	167				
	林業生産便益	357	260						
	森林整備経費縮減便益	1							
	その他効果	110							
	合計（B）	1,408	1,392	合計（C）	1,198	1,055			1.17
備考									
【前回】 ・「林野公共事業における事前評価マニュアル」(林野庁H14)に基づき算出している。 ・経済効果及び費用は、「整備期間+事業完了後40年間」の累計で算出しており、各年度の金額は、算出する基準年(H14)現在の価値に置き換えている。 ・費用は、現在価値への置換えと40年間の維持管理費及び一部経費を含んでいるものもあり、総事業費と異なる。				【現在】 ・「林野公共事業における事前評価マニュアル」(林野庁H22)に基づき算出している。 ・経済効果及び費用は、「整備期間+事業完了後40年間」の累計で算出しており、各年度の金額は、算出する基準年(H24)現在の価値に置き換えている。 ・費用は、現在価値への置換えと40年間の維持管理費を含んでいることにより、総事業費と異なる。					
3.コスト削減などの取組み	取組の項目	取組内容					縮減額（百万円）		
	設計基準類の見直し	林道設計基準の改定等を踏まえた工事の実施 (切土ステップの廃止に伴う土工量の縮減)					37		
V 評価									
1.必要性	今後の開設区間においても森林整備（造林・間伐等）が計画されており、本事業による林道開設の必要性に変化はなく事業継続は必要である。								
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある							
2.事業を推進する上での課題	(1) 道政課題（ほっかいどう社会資本整備の重点化方針）での位置付け								
	施策優先度	A	施策名	健全な森林の整備と保全の推進		事業ウリ	1	事業優先度	I
			全道優先度	A	地域優先度	なし			
	森林整備を効率的に実施するため、森林整備に直結する基盤整備として優先度は高い事業である。								
	(2) 環境上の配慮及び課題 ○工事区間における希少動植物については、現地調査及び地元有識者への聞き取り等を行った中で確認されていない。また、工事着手前に現地再確認も行っている。 ○既設作業道のある箇所は最大限利用するなどし、極力地形の改変を抑える線形とすると共に、降雨時・融雪時に下方に土砂が流出することのないよう法面保護を行い汚濁防止に努める。 ○自然環境に合う間伐材を利用した木製品を積極的に利用し、木材地消を推進している。								
(3) 事業推進に対する住民の動向 ○工事が完了した区間から供用を開始しており、これを活用して森林所有者等により森林整備が進められている。									
(4) その他の課題 特になし									
3.事業達成の見込み	事業を遂行する上で特に問題等はなく、引き続きコスト削減を図ることで事業期間内での完了が可能である。								
	a	a：十分達成が見込まれる b：課題はあるものの達成は可能である c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される							
4.対処方針	森林整備を実施する上で基盤となる本林道の必要性に変化はなく、森林所有者並びに自治体からも完成に向けての要望が強く、事業達成は十分見込まれることから、早期完成を目指し事業を継続する。								
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止							
	事業期間の変更の有無	無	事業費の変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更	無
VI 備考									
1.評価履歴	事前評価	なし	年度実施	なし	評価結果				
	再評価	なし	年度実施	なし	評価結果				
2.その他の取り組み事項	特になし								

地区名	富内第2	所在地	むかわ町	
事業主体	北海道	主な事業内容	利用区域面積	519 ha
			車道幅員	3.0 m
			延長	7,485 m

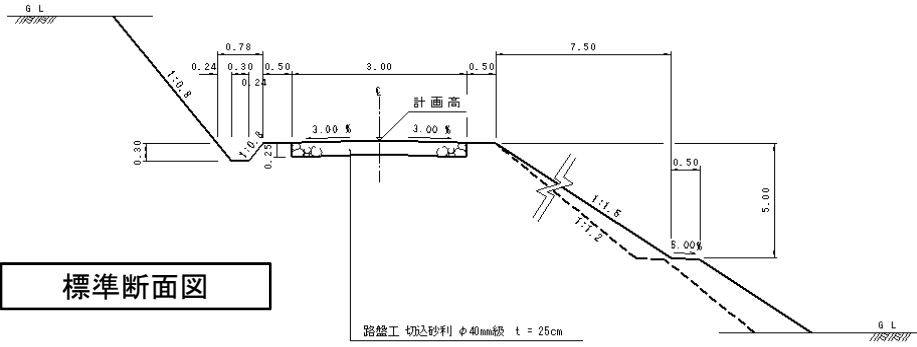


富内地区

富内地区

鶴川

凡 例	
対象林道(施工中)	
対象林道(未成区間)	
対象林道(完成区間)	
林道利用区域	
利用区域内国有林	
利用区域内保安林	
国 道	
主 要 道	
一 般 道	
市 町 村 道 等	
高 速 道 路	



標準断面図

1 : 50000

